

夏

地震や災害が多かった上半期、皆様おかわりなくおすごしでしょうか？ 大阪の会員の方からは、地震で猫たちがびっくりして外へ逃げ、走り回った話も聞きました。マイクロチップ、同行避難、ワクチネーション、避妊去勢など、オピニオンリーダーとして私たちができる対策をコツコツ広めていかなければ、と思いました。うれしいニュースは、来年2月の内科学アカデミーの教育講演を頼まれたことです。では、ニュースレター読んでくださいね。 SAMI事務局



NEWS

6月3日(日)動物医療発明研究会・第27回総会を開催!

インターズーさんのご好意で、セミナールームを貸していただき、今年も楽しい総会になりました。年々なごやかさがUP。気がねなく活発な話し合いができるようになって、ありがたく思います。

1/会長挨拶: 13:05

2/ミニ自己紹介(順不同) 13:10

出席の皆さんのミニ自己紹介と自己アピールタイム

3/会計報告: 13:30

4/活動予定: 13:35

5/無料セミナー: 第1部 13:40~ 第2部 14:50~

1/『高齢および緩和ケアのアイデアと工夫』

浅井フーズ(東京)

2/『ポータブル機器活用のアイデア』

山口 潤(ゆたか)先生(石川)

6/ミニ懇親会: 15:50~16:30

7/二次会: 17:00~

有志が土居さん推薦の「イル・キャンティ」代々木公園店で楽しく食事とお酒をいただきました。



★総会に参加して★
先日は楽しく、ためになる総会&セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。今日、領収書が届きました。年会費にあてていただけるようで感謝です。今回のセミナーでもたくさんの出会いや、ためになることを学ばせていただいたのですが、一番印象に残ったのは清水宏子先生が作製された「スケジュール表」が貼ってあったことです。改めて「手書き」のあたたかさに気づきました。また来年の総会を楽しみにしています。(安田幸弘)

お二人の講師の話にはたくさんの質問が飛び交い、休憩時間の名刺交換でも食欲に質問されている会の皆様をみてとても刺激になりました。夜の食事会では動物園獣医師の飼育裏話も聞けたり自身の娘の悩みなども相談を聞いてもらったり、とても気さくに接していただいてありがとうございました。また次回も参加します。(鍵和田哲史)

動物医療発明研究会・第27回総会にご出席いただいた皆さま

【臨床(開業関係)】

板垣 昌志先生/日本IMI研究所(山形)
江崎 久子先生/臨床獣医師(藤沢)
小関 隆先生/往診動物クリニック(高輪)
金井 修一郎先生/むつあい動物病院(藤沢)
白石 充代先生/小暮動物病院(文京区)
菅又 恒子先生/エルザ動物・小鳥の病院(西東京)
土谷 調子先生/ピッコリーノ動物病院(埼玉)
林 律子先生/もものきペットクリニック(町田)
比留間 俊美先生/エルザ動物・小鳥の病院(西東京)
宮沢 育也先生/茶臼山動物園(長野)

安田 幸弘先生/やすだ動物病院(北海道)
山口 潤先生/希望の丘どうぶつ病院(石川)
清水 邦一/清水動物病院(横浜)
清水 宏子/清水動物病院(横浜)

【企業】

小野寺 由美子さま/髙浅井フーズクリエイション(世田谷区)
糟谷 卓摩さま/髙医療情報研究所(奈良)
片岡 司さま/千寿製薬(大阪)
鍵和田 哲史先生/ゾエティス・ジャパン(新宿区)
越村 義雄さま/人とペットの幸せ創造協会(千代田区)

佐藤 俊作さま/ニッケンカミソリ(岐阜)
中村 宜司さま/髙浅井フーズクリエイション(世田谷区)
諸橋 悠一さま/犬と生活(渋谷区)
*あいうえお順

【個人】

伊藤 悦子さま/フリーライター(町田)

【出版社】

土居 英行さま/
インターズー
(新宿区)



今、SAMI50号より4回連載で山口 潤先生(希望の丘どうぶつ病院)のスライドをご紹介します。



本講演について

今年の2月に内科学アカデミーでお話した内容です。大変マニアックな内容かもしれませんが、興味のある方が、獣医師、関係業者さん関係なく聞きに来てくださいました。データなどが小さく見づらい部分もあるかもしれませんが、ご参考にしていただければと思います。ご質問等ございましたら、メールやフェイスブックでご連絡いただければと思います。

☆メールは kibouvet@kibouvet.com ☆フェイスブックは本名「山口 潤」で行っています。

POCT
1-4

小動物診療における ポータブルPOCT機器の応用

動物医療発明研究会
山口 潤
(希望の丘どうぶつ病院)

簡単な自己紹介

- 石川県七尾市で開業して6年目
- 動物医療発明研究会内での活動
- 2016年 教育講演(内科学アカデミー)
獣医学雑誌連載(獣医畜産新報)
無料セミナー(研究会総会)
- 2017年 DVD制作(医療情報研究所)
- 2016年~2017年 会誌連載
(誠心誠意・創匠工夫)

簡単な自己紹介 (地方開業アイデア関連)



簡単な自己紹介 (アイデア関連・会誌)



その他にも有用な情報がいっぱい!!
ご興味のある方はぜひご入会ください!!

講演の概要

今年は少し趣旨を変えて...

- 個人的に以前からポータブルPOCT機器を積極的に利用(エキゾチック、災害、往診)
- それに伴って得た知見について
- 当院で採用しているエビデンスの収集と統計処理の方法を交えて

講演の概要

発明研究会として...

- 動物医療発明研究会の趣旨に基づきアイデアの検証や発明に繋がるような観点から
- 時間のない開業医でも簡易で利用しやすいエビデンスの収集方法、統計処理方法

講演の概要

対象となる方は...

- 緊急時、往診、幼弱動物、小動物、災害時などの獣医療におけるポータブルPOCT機器の導入を検討している獣医師
- 簡易的なエビデンスの収集方法や統計処理法の活用を検討している獣医師
- ポータブルPOCT機器の活用から新たなニーズを開拓しようとする獣医療従事者ならびに獣医療周辺産業従事者

POCT機器

- point of care testing の略
(臨床現場即時検査、傍臨床現場検査)
- 診察室、病棟などで行われる(中央検査室で集中して行う病院、動物病院では大学病院やそれに準ずる規模)
- 一般の動物病院で使われる機器はほぼPOCT機器
- 世界的に成長市場(医療費削減)

ポータブルPOCT機器

- 小さい・早い・簡単なポータブルの機械
- 持ち運び可能なPOCT機器
- 単項目、少数項目
- バッテリー駆動
- 検体の前処理が不要もしくは簡便
- 検体が少量
- 測定時間が短い

ポータブルPOCT機器の活用

- 少量の検体で
- 病院外での使用が可能なので...
緊急時
往診
幼弱動物、極小動物
災害時
- 単項目、少数項目の機器なので...
大型の機器では測定項目にない検査を追加

当院で試用した ポータブルPOCT機器の具体例

- βケトン(β-ヒドロキシ酪酸)
- 乳酸
- プロトロンビン時間
- 活性化凝固時間
- マグネシウム
- 糖化ヘモグロビン
- 心筋トロポニンT
- クレアチニン

当院で試用したポータブルPOCT機器

- プレジジョンエクシード(β-ヒドロキシ酪酸[βケトン])
- スタットセンサーエクスプレス(クレアチニン)
- ラクテートプロ2(乳酸)
- アクタライクテストチューブMAX-ACT(活性化凝固時間)
- カーディオチェックPA(トリグリセリド、総コレステロール)
- アセンシアアブリース2(グルコース)
- コアグチェック(プロトロンビン時間)
- STAX-5(①Na,K,Cl,Hct②pH,pCO2③iCa,iMg,pH)
- A1CNOW(糖化ヘモグロビン)
- トロップTセンシティブ(心筋トロポニンT)

検体量と測定時間

- プレジジョンエクシード(全血0.6μL、5秒)
- スタットセンサーエクスプレス(全血1.2μL、30秒)
- ラクテートプロ2(全血0.3μL、15秒)
- アクタライクテストチューブMAX-ACT(全血0.5ml、2分程度)
- カーディオチェックPA(全血15μL、2分)
- アセンシアアブリース2(全血1μL、5秒)
- コアグチェック(全血10μL、1分)
- STAX-5(カード1枚につき全血10μL、60~180秒)
- A1CNOW(全血5μL、5分)
- トロップTセンシティブ(全血150μL、15分)

ポータブルPOCT機器の 使用に当たって

- 人体用のものは動物病院への積極的営業ができない(動物用医療機器の手引き)
- 動物での使用を検討したい機器がある場合はエビデンスとなる文献を調べ、実際に院内でデータを集め、文献との整合性を確認

ポータブルPOCT機器の 使用に当たって

- 文献と異なる条件(動物種等)でデータを取る場合には統計処理を行い機器を使用する上での参考データとする
- 院内集計はローカルで特殊であり、適合性は高いが一般性に乏しいという特徴があり、あくまでも仮説の提唱(エビデンスレベルは高くない)

【新入会員・自己紹介】



アレス動物医療センター
沖田 将人先生



1973年石川県生まれ／1998年私立北里大学獣医畜産学部獣医学科卒業／1998年大阪府ファーブル動物病院勤務／2002年富山県高岡市アレス動物病院開院／2004年年中無休診療開始／2008年病院拡大／2011年アレス動物医療センター移転開院

☆仕事の紹介

アレス動物医療センターは富山県高岡市の犬、猫、ウサギ、鳥、その他エキゾチックアニマルを診療対象とした動物病院です。“ALLES (アレス)” はドイツ語で「あらゆるもの」を意味します。年中無休、時間外救急診療、インフォームドコンセントの徹底、CTスキャナ導入、軟部・整形外科手術対応、エキゾチックアニマル診療対応、カルテ・診療明細の開示サービスなど、コンパニオンアニマルの幸せにつながる飼い主様の「あらゆる」要望にお応えできるよう日々努力しております。

☆ポリシー

自分だけができる特殊な技術ではなく、あらゆる弟子（勤務医）が習得実行可能な技術の模索、指導を心がけています。才能がない人間の気持ちは、才能がない者にしかわからない。これは不器用、不真面目、不勉強にもかかわらず勤務医を育てる立場になってしまった自分の使命とっております。

☆過去のプチ自慢

犬猫診療を中心とする獣医師、新人獣医師に向けた初心者読本「できる!!ウサギの診療」出版。ウサギもたまに来るから一冊くらいウサギの本を本棚に入れておこうか。でも極力時間と手間と費用をかけずに、できるだけ犬猫診療の器具機材でどうにかやっつけられないかなあという獣医さんにはちょうど良い内容となっていると思います。ただしエキゾチックアニマルスペシャリストの獣医さんには非常に物足りない内容となっておりますので、ご注意ください。まだ買っていない方は今からでもボランティア感覚でご購入ください。

☆今後の目標

1. 修業の場としてだけでなく、勤務医、看護師が生涯の職場として働ける企業としての動物病院づくり。
2. 検査、診断、内科、外科、眼科、エキゾチックペット診療、サービスあらゆる面で、ちょっとだけすごいことができる動物病院づくり。
3. 忙しい獣医師が診療の合間にちらっとだけ見て役立つ、日本一薄いウサギの診療実用書の執筆。
4. 定年退職ぎりぎりの年になっても、新卒獣医さんをよいしょできる低姿勢の維持。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

私以上にインドアな奥さんを外に連れ出し、死ぬまでに47都道府県に一度は連れていくこと。

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

1つのことに打ち込むこともできず、根気も情熱も長続きしない、いかにも大成できない性格ですが、今までの手法を捨て、新しいことを取り入れることにはまったく抵抗がありませんので、たくさんアイデア、技術をご教授いただければと思います。

【新入会員・自己紹介】



日本理工医学研究所 岩坪 範光

☆仕事の紹介

世の中にない商品の企画・設計・開発
・販売 (例: 水道水でペットのマウスケアができる水生器、光触媒小型脱臭器)

☆ポリシー

出過ぎた杭は打たれない。しかし、出過ぎると抜かれる。

☆過去のプチ自慢

第51回長崎県発明くふう展 (中小企業の部) WINNING賞受賞営業車で1ヵ月5,000km営業している事

☆今後の目標

動物医療発明研究会の先生方と世の中に喜ばれる商品開発をする事

☆今、夢中になっていること

休みの時のクックパッドを見ての料理、出張先での日本酒飲み歩き

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

当社はゼロから商品を作る会社ですので、先生方の商品開発のアイデアを形に出来ます。一緒に企画・開発をやって頂ける先生を募集中です。

雪の朝
小さな梅が
点々と
餌を求めて
地域猫



つむじ風
黄い枯葉が
かさこそと
同じ模様の
猫が舞う



春一番
吹いたか吹かぬか
わからぬが
私のフェロモン
届いたかしら
地域猫
互いの無事を
確かめつ
木影に集い
暑さを凌ぐ



13
爺
爺

佐藤大猫病院 (三郷市) 佐藤剛作

【新入会員・自己紹介】



フリーライター 伊藤 悦子

神戸市生まれの東京育ち

・麻布大学獣医学部
環境畜産学科卒
(現：動物応用科学科)

・フリーライター／動物のことを
中心に書いております

息子が小学校高学年になり手が離れるようになったのをきっかけに、母校麻布大学の実験動物学研究室・微生物学第2研究室の秘書、図書館で仕事をしておりました。清水先生とお知り合いになったのも、図書館での仕事がかきかけです。

☆ポリシー 何事も情熱をもって取り組むこと

☆過去の発明・発見・アイデア自慢

老犬の床ずれ予防に、子供が使っていたベビー用布団のマットが意外に良かったことです。また、綿の古いTシャツは吸収がよいうえ爪が引っかからず、敷物カバーにしたり体を拭いたりと介護にたくさん使いました。捨てずに取っておくと便利な時もあると実感しました。

☆そのきっかけ生まれた理由

愛犬の介護です。雑種の中型犬で17歳まで生きました。

☆皆に役立つ失敗談

失敗、というより病気ですが、ステロイドも効かず、脾臓をとってもあまりよくならならず長年苦しんでいた「特発性血小板減少性紫斑病」が、出産をきっかけにいきなり治癒してしまっただけです。理由は不明ですが、免疫の何かがかかわっているのでしょうか。

☆これからやりたいこと目標

今は依頼されて記事を書いています、自分からコンテンツを発信し、出版することが目標です。

いずれにしても読んでよかった!と思っただけの文章

を書きたいと思っております。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること
音楽が大好きで、バンドやユニットでフルートやキーボードを弾いています。洋楽やJ-popなども弾きますが、今夢中になっているのは昭和歌謡。ただコピーするだけではなく、オリジナルのアレンジに挑戦しています。



☆発明研究会の皆様へ伝えたいこと

いろいろなことを学ばせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

☆発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

猫の飼い主として、またライターとして記事を書いていく中で、発見したことや気づいたことををお伝えしたいと考えております。



新入会員

金井 修一郎先生 / むつあい動物病院 (藤沢) 小さなご心配ごとにもご相談頂けるよう心がけています
土谷 訓子先生 / ピッコリーノ動物病院 (さいたま) 家族構成まで把握しているからできるペットの最適なケア
織田 春人先生 / おだ動物病院 (横浜) とても優しく 親身になって話を聞いて下さいます (ロコミより)
小関 隆先生 / 高輪往診動物クリニック (東京) 大切な家族の一員である動物を丁寧に診察します
伊藤 悦子さま / フリーライター (町田) 動物のことを中心に書いて発信しています

動物医療発明研究会のホームページ。会員病院の登録もできます。



会員の病院・施設名、郵便番号住所、TEL&FAXとホームページアドレスを掲載します。ご希望の場合は、「SAMI-HP掲載希望」と明記して、データをメールにて、下記アドレスまでお送りください。

hp@ispecial.co.jp
(運営受託：株式会社アイ・スペシャル)



動物医療発明研究会・事務局では、お役立ちのアイデアやエピソードを随時募集しています。お気軽にメール、FAX、郵便でどうぞ。

☆なお掲載されるデータは、編集担当「ノーマデザイン」野間へ(下記)直接お送りください。
noma@dream.jp

SAMI NEWS 50号 発行日：2018年8月吉日

発行所：動物医療発明研究会事務局

発行人：会長 清水 邦一 / 編集人 ノーマデザイン 野間 忠博

事務局：230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール：sah@vet.ne.jp

FAX：045-583-3594 (電話：045-583-3738)